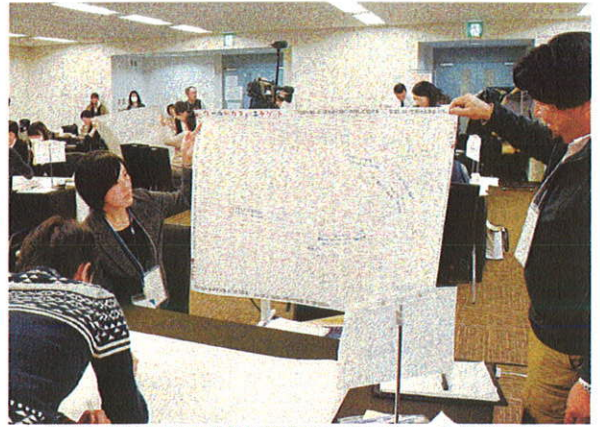


# 被災者ケアの意見交換

## 仙台 支援スタッフら交流



被災者支援の現状や課題などを話し合う参加者

東日本大震災で精神的なストレスなどを抱えた被災者の支援に当たる団体のスタッフや弁護士らの交流会が17日、仙台市青葉区のTKPガーデンシティ仙台であった。

約50人が参加。経済的に苦しい家庭の子どもらに学習支援をするNPO法人アスイク(仙台市)など10団体が現状を報告した後、参加者同士が「孤立を防ぐ地域づくり」などをテーマに

意見交換した。

被災者の電話相談に応じる一般社団法人プレスみやぎ(同)の佐々木智賀子コーディネーターは「相談内容が多様で、他団体との連携が必要。震災で職を失い経済的負担が増した人も多く、支援のニーズは変わらない」と話した。

講演したみやぎ心のケアセンターの小高晃センター長は「問題を一人で抱え込む被災者もいる。支援者がつながり支援基盤を築くことが大切だ」と強調した。

交流会はみやぎ心のケアセンターなどが2011年に開始し、14回目。2月18日に南三陸町、3月17日には石巻市で開かれる。